

2023年3月17日



各位

会社名 株式会社テクノメディカ
代表者名 代表取締役社長 實吉 政知
(コード: 6678、東証プライム)
問合せ先 取締役 経営管理本部長 津川 和人
(TEL. 045-948-1961)

上場維持基準への適合に向けた計画書

当社は、2022年12月末時点において、株式会社東京証券取引所のプライム市場における上場維持基準のうち「1日平均売買代金」の基準を満たさず、上場維持基準に適合しない状態となったことから、下記の通り、上場維持基準の適合に向けた計画書を作成いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 適合状況（1日平均売買代金）

プライム市場 上場維持基準	0.2 億円
当社の状況	11,076,508 円

2. 計画期間

2023年度中期経営計画の最終年度である2025年12月末までに、上場維持基準を充たすための各種の取り組みを進めてまいります。

3. 取組の基本方針、課題及び取組内容

詳細は、別紙「上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載の通りです。

以上

上場維持基準の適合に向けた計画書

2022年3月17日

株式会社テクノメディカ

1. 適合状況と計画期間

当社は、2022年12月末時点で、プライム市場の上場維持基準のうち「1日平均売買代金」の基準を満たしていません。

上場維持基準	0.2億円以上
当社の状況 (2022年1月~12月)	11,076,508円

この状況を改善するため、2023年度中期経営計画の最終年度である2025年12月末までに、上場維持基準を充たすための各種の取り組みを進めてまいります。

2. 基本方針

当社は、2023年度中期経営計画を作成しており、この計画を着実に実行することで、企業価値を向上し、上場維持基準の達成を目指します。

<2023年度中期経営計画策定方針>

- ① 「2030長期ビジョン」を見据え、更なる発展への転換を図る。
- ② 持続的成長へ向けたビジネスモデルの変革を図る。
- ③ ESG（環境・社会・企業統治）支店での事業を通じた社会的課題解決への貢献を行う。
- ④ 「2030長期ビジョン」達成のための人材価値の最大化を図る。

同時に、情報開示の充実を図り、より広く投資家の皆様に認知をいただけるよう、積極的なIR活動に取り組んでまいります。

3. 課題と取り組み内容

上場基準を達成するための課題と取り組み内容は、以下の通りです。

課題	取り組み内容
(1) 持続的な成長・ 中長期的な企業価値の向上	①「2030長期ビジョン」の推進 ②2023年度 中期経営計画の推進
(2) 株式市場での適正な評価と 当社認知度の向上	③コーポレートガバナンスの充実
(3) 当社株式の取引の活発化	④IR活動の積極化 ⑤株主還元の充実

4. 具体的な取り組み内容

(1) 持続的な成長・中長期的な企業価値の向上のための取り組み

①「2030長期ビジョン」の推進

当社は「2030長期ビジョン」を策定・公表しております（詳細は別紙）。これらの取り組みを通じて、持続可能な成長・発展を目指してまいります。

【概要】

当社が考える10年後の社会像に対し、健康、医療分野でどのように貢献ができるのかチャレンジを続けてまいります。具体的な取り組み内容は以下の通りです。

- ・使用する原材料の削減
- ・ロボットシステム普及に貢献する技術や製品の開発、ソリューションの提供
- ・消耗品事業のプラスチック製品から紙製品への転換
- ・感染予防対策に資する製品の開発、提供
- ・自社ビル内節電策、太陽光発電の活用、産業廃棄物のミニマム化…

4. 具体的な取り組み内容

(1) 持続的な成長・中長期的な企業価値の向上のための取り組み

②2023年度 中期経営計画の推進

当社は、以下の通り「2023年度 中期経営計画」を作成します（2023年5月開示予定）。

<基本的な考え方>

- 2022年度実績見込みの解析を十分に行い、当社の持続的成長戦略に資する施策も織り込んだ計画を策定します。
- ESG投資、人材戦略に資する案件についても、投資計画として策定します。
- 財務・人材・営業・生産技術・研究開発に関する戦略も策定中であり、内容が決定次第、目標値等を開示してまいります。

この計画の推進を通じて、持続的な成長・中長期的な企業価値の向上に取り組むことで、上場維持基準の達成を目指してまいります。

4. 具体的な取り組み内容

(2) 株式市場での適正な評価と当社認知度の向上のための取り組み

③コーポレートガバナンスの充実

コーポレート・ガバナンスの更なる充実のための取り組みとして

✓ 招集通知の英訳／議決権のオンライン行使（2021年6月より）

✓ 議決権プラットフォームの採用（2022年6月より）

上記を実施し、議決権行使の環境整備を図っております。

その他、取締役や従業員に対する譲渡制限株式の付与等を適宜実施し、役職員が株主の皆様と同じ視点を持ち、日々の経営・業務に取り組むことで、企業価値の向上を目指してまいります。

4. 具体的な取り組み内容

(2) 株式市場での適正な評価と当社認知度の向上のための取り組み

④IR活動の積極化

当社はこれまで、投資家の皆様からのお問合せへの対応等を通じて、IR活動に取り組んでまいりました。今後は一層IR活動を積極化し、当社へのご理解を深めていただくよう努めてまいります。これを通じて当社の認知度の向上を図るとともに、株価の向上、当社株式の取引活発化を目指してまいります。

✓決算説明会の内容充実（年2回／中間・期末）

従来より実施している機関投資家向け説明会において、これまで以上に開示情報を充実し対話を重視した内容を目指すことで、当社に対する理解促進に努めてまいります。

✓ホームページのIR情報の充実

投資判断にお役立ていただける情報をより多く掲載し、積極的な情報発信を行ってまいります。また、英文資料の開示内容についても充実を図ってまいります。

✓個人投資家の問い合わせへの対応

個人投資家の皆様による個々のお問い合わせについても、これまで以上に真摯に対応いたします。

4. 具体的な取り組み内容

(3) 当社株式の取引の活発化

⑤ 株主還元の充実

<株主還元方針>

当社は、株主の皆様への利益還元を重要施策の一つと位置付けし、経営環境、業績に裏付けられた成果の配分と、内部留保の決定を行うことを基本方針としています。

これまで安定配当を維持するとともに、配当性向30～40%を目安に実施して参りました。

今後、中長期的には、配当性向30～40%の目安に加えて、総還元性向50%を実現することを目指して参ります。

<自己株式の取得>

株主還元のための施策の一環として、自己株式の取得を実施すべく、検討を進めて参ります。

2030長期ビジョン

2022年5月

株式会社テクノメディカ

1. 2030長期ビジョン

(長期ビジョン制定にあたり)

2030長期ビジョンを制定しました。

事業活動を通して、健康、医療分野で社会に貢献していきます。

当社は1987年に創業、採血管準備装置・システムは他社に先駆けて開発し、病院待ち時間の大幅な短縮を図り、病院及び患者様へ効率的で、快適なサービスを提供し貢献してまいりました。

2022年には創業35年を迎えます。当社の更なる安定的な成長のために、変えないもの、変わらなければならないものについての議論を行い、当社の「経営理念」を実現するために今後何に取り組み、如何に社会に貢献していくべきか、当社の10年後のありたい姿としての、2030長期ビジョンを制定致しました。

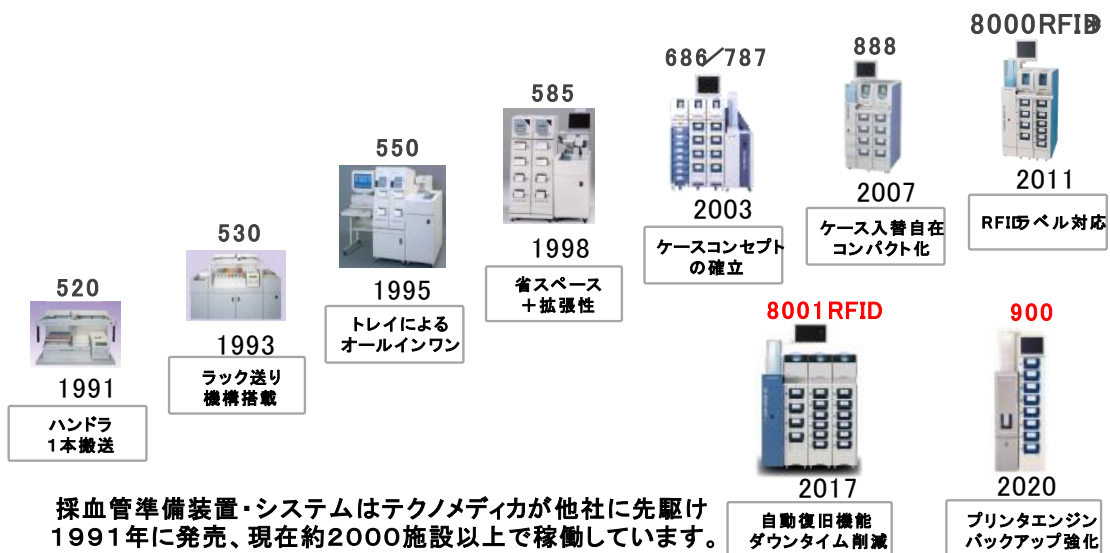
当社が考える10年後の社会像に対し、当社として健康、医療分野でどのように貢献できるのか、チャレンジしていきたいと考えています。

テクノメディカの主要製品

TMC **Techno Medica**

CONFIDENTIAL

◆ 採血管準備装置・システムの歴史



*RFID(Radio Frequency IDentification) … ICタグの個別情報を無線通信によって読み書きするシステム

2. 10年後の社会像

SDGs(国連の持続可能な開発目標)をはじめとした社会課題解決への取組の要請が高まっています。当社は社会の基盤と革新を担う存在であり、社会課題の解決に向けて大きな責任を持っています。持続可能な社会の実現には、ソリューション提供を通し、当社が成長しながら継続的に社会価値を創造していくことが不可欠となっています。当社は ESG(環境・社会・企業統治)の視点で機会とリスクを的確に捉え、経営に反映させて参ります。

SDGs への貢献分野



(取組内容)

- ・ 使用する原材料の削減
- ・ ロボットシステム普及に貢献する技術や製品の開発、ソリューションの提供
- ・ 消耗品事業のプラスチックから紙製品等(エコマテリアル)への転換
- ・ 感染予防対策に資する製品の開発、提供
- ・ 自社ビル内節電策、太陽光発電の活用
- ・ 産業廃棄物のミニマム化
- ・ 安定調達、供給のための構造改革
- ・ 「現場力」に基づいた最適生産体制の確立
- ・ 働きやすい職場環境づくり

当社は革新的な新製品や技術開発を通して、このような社会課題の解決に向けて果たすべき役割は大きいと考えています。この変化に迅速に対応し、持続可能な成長・発展を目指します。

3. 経営理念・基本方針

経営理念・基本方針



経営理念

「わたしたちは、健康、医療分野でのオリジナリティあふれる
オンリーワンの製品・サービスを提供し、社会に貢献します」

(基本方針)

- 1.採血管準備装置・システム及び血液ガス装置は、信頼性、品質の向上を図り、価値あるサービスを提供することにより、お客様の期待に応えます。
- 2.新製品の開発(※)により、新たな事業の創造を目指します。
- 3.これからも日本国内にとどまらず、当社の技術力を生かし、世界に貢献する企業を目指します。

※キーワードは「在宅医療」「予防医学」「先制医療」「POCT(臨床現場即時検査)」な

3

テクノメディカの主要製品



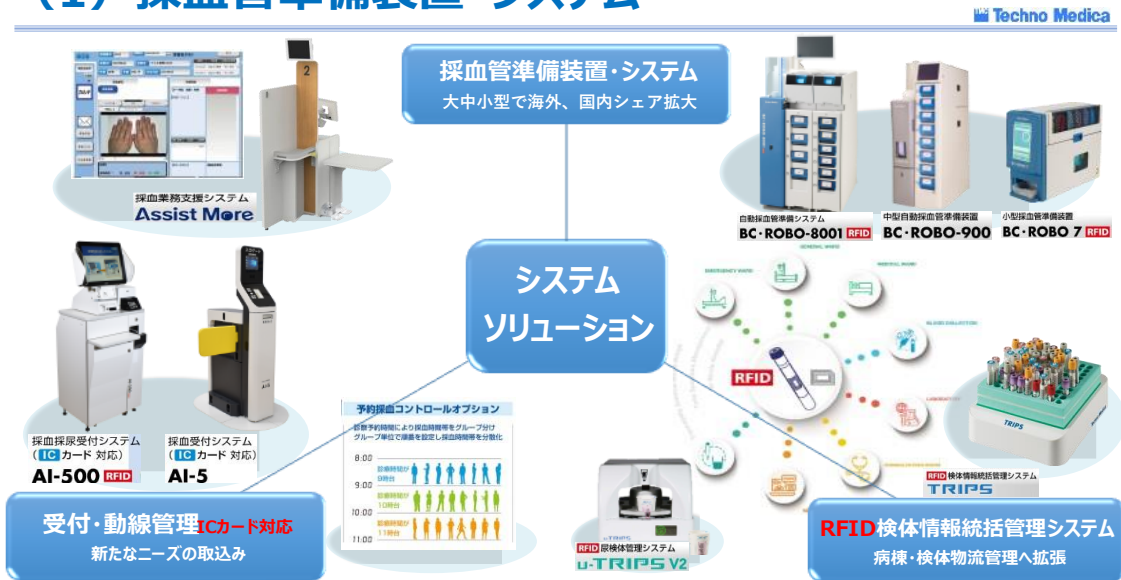
◆ 品目別に見た主要製品

	製品名				
採血管準備装置・システム	採血管準備装置 BC-ROBO 8001RFID	卓上型 採血管準備装置 BC-ROBO7	RFID検体情報 統括管理システム TRIPS	アンテナ ボックス 採血管 スタンド	全自動尿分取装置 UA-ROBO- 2000RFID
検体検査装置	血液ガス分析装置 GASTAT-700モデル	ハンディ型血液ガス分析器 GASTAT-navi	電解質測定器 STAX-5 Inspire	<その他> 赤血球沈降速度測定 装置 尿中酸化ストレスマーカ ー測定システム 等	
消耗品等	各種採血管	ラベル	センサーカード	電極	ハルンカップ <その他> 採血管準備装置および 検体検査装置の保守 等

4

4. 2030年社会に貢献する事業領域ビジョン

(1) 採血管準備装置・システム



(2) 検体検査装置



(3) 新規取り組み



5. 社会に貢献するための3つの基本戦略

10年後の社会に貢献するためのキーワードは、イノベーション、海外展開、既存事業強化です。

(1) イノベーションの追及

- ・顧客目線でのイノベーションの強化
- ・研究開発、システムソリューションによる提案力の強化



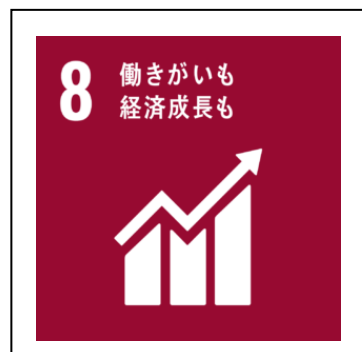
(2) 海外展開の拡大

- ・グローバルな拡大を目指し、自社での地域拡大及び海外代理店の活用による販路の強化



(3) 既存事業強化

- ・AI、IoT等の先端技術活用による次世代機の開発
- ・消耗品拡大への生産効率化
- ・サプライチェーンを含めたコスト合理化

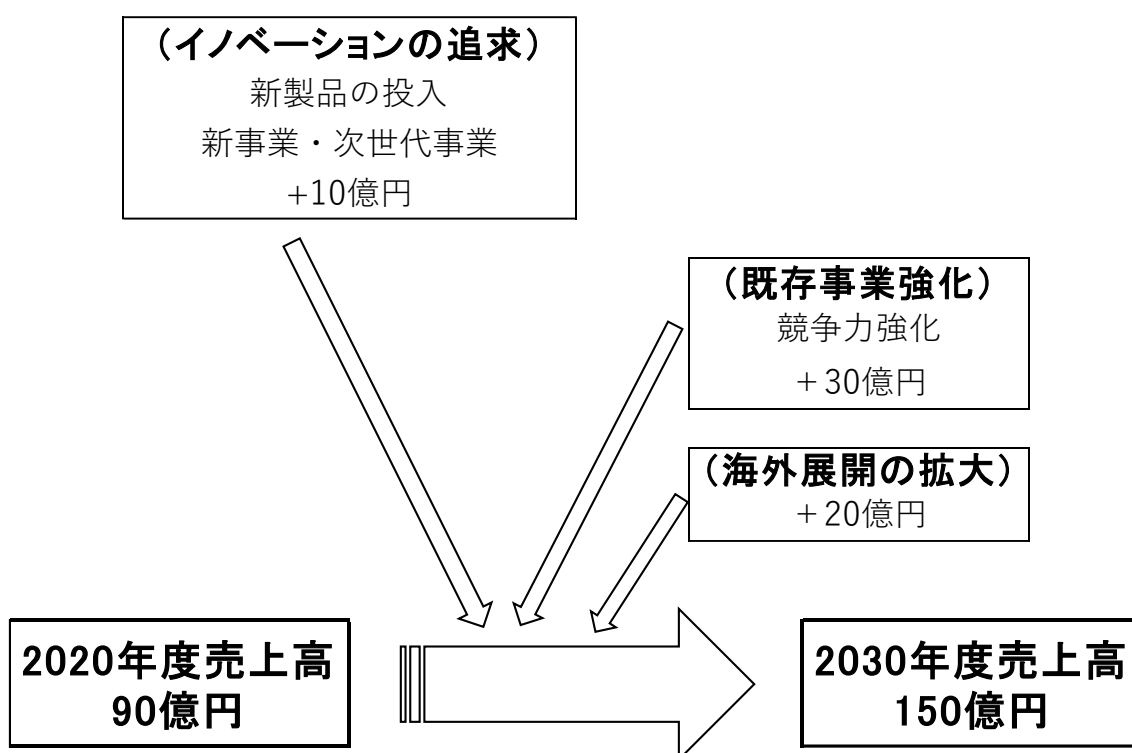


事業活動を通し社会に貢献できる会社を目指し、3つの事業領域と経営基盤を強化し健康、医療分野での安心な社会の実現へ向けた取り組みを進めて参ります。

6. 2030経営数値目標

2030年には、売上高150億円、営業利益30億円、株主資本利益率(ROE)10%以上を目指し、更なる事業ポートフォリオの変革を推進して参ります。

(1)売上高



(2)株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要施策の一つと位置付けし、経営環境、業績に裏付けられた成果の配分と、内部留保の決定を行うことを基本方針としています。

これまで安定配当を維持するとともに、配当性向30%~40%を目安に実施して参りました。今後中長期的には、配当性向30%~40%を目安に加え、総還元性向50%を実現することを目指してまいります。

以上